

20年度再評価事業の対応方針について

ゆとりとみどり振興局

No.	事業名	事業内容	事業採択年度	完了予定年度	進捗率	評価	評価に対する局の考え方について
1	鶴見緑地	鶴見緑地は、本市をとりまく4大緑地のひとつである。国際花と緑の博覧会の成果を継承し、鶴見新山や池などの起伏を活かしながら、豊かな自然の中で快適にアウトドアライフを楽しめる市民の憩いの場に、また、同時に海外からも人々が集い、交流する国際都市大阪にふさわしい「花博記念公園」として整備する。	S41	H29	用地取得率 約99.8% 工事進捗率 約96.8%	事業継続 「評価B」	用地取得率は約99.8%、工事進捗率は約96.8%に達している。残事業区域の大部分を占める駅前エリアについては、公園の玄関口に当たり、公園全体のにぎわいや地域の活性化の観点からも、着実に整備を進めていく必要がある。こうしたことから、現在、学識経験者等による検討会議を設置し基本計画を検討しており、その結果をふまえ、予算の範囲内で事業を実施していく。
2	毛馬桜之宮公園	毛馬桜之宮公園は、市内を南北に流れる大川の両岸に沿って広がる「水都・大阪」を代表する公園である。花見の名所として有名であるとともに、散策、休息、スポーツ、レクリエーション、遊戯など幅広く市民に親しまれている。また、周辺の歴史、文化性豊かな地域特性も活かしながら、「リバーサイドパーク」として整備する。	S42	H35	用地取得率 約99.8% 工事進捗率 約84.7%	事業継続 「評価C」	用地取得率は約99.8%、工事進捗率は約84.7%に達しているが、占用等の河川敷における権利関係の整理や、本市の厳しい財政状況により積極的な用地買収を行えず長期化している。今後権利関係が整理できた区域の施設整備や、地権者の買取要望に応じた用地買収により限定的に事業を実施していく。
3	中之島西公園	中之島西公園は、都心部に位置し、ホテルや高層ビルの立ち並ぶ中之島西部地区に位置するため、都市景観の向上ならびに災害時における広域避難場所に位置する都市公園としての機能充実を図る。	S53	H24	用地取得率 約96.8% 工事進捗率 約92.1%	事業継続 「評価C」	用地取得率は約96.8%、工事進捗率は約92.1%に達しているが、本市の厳しい財政状況により積極的な用地買収が行えず長期化している。今後、地権者の買取要望に応じた用地買収により限定的に事業を実施していく。
4	巽公園	巽公園は、生野区内唯一の地区公園として計画されている。本公園が位置している当該地域は市内においても有数の密集市街地であるため、居住環境の向上を図るためにも地域の緑の拠点及び災害時における一時避難所等の防災機能を備えた公園として整備を行う。	S63	H29	用地取得率 約96.8% 工事進捗率 約56.0%	事業継続 「評価C」	用地取得率は約96.8%、工事進捗率は約56.0%に達しているが、本市の厳しい財政状況により積極的な用地買収が行えず長期化している。今後、予算の範囲内で用地取得済み区域の施設整備を行い、地権者の買取要望に応じた用地買収を含め限定的に事業を実施していく。
5	阿倍野再開発2号公園	阿倍野再開発2号公園は、約3,100戸の住宅と大規模な商業・業務施設が計画されている、阿倍野地区第二種市街地再開発事業区域内にあり、地域の緑の拠点として、住民や就業者等の憩い、交流の場に供するとともに防災に寄与することを目的として整備を行う。	S55	H23	用地取得率 100% 工事進捗率 約27.3%	事業継続 「評価A」	用地取得率は100%に達しているが、工事進捗率は27.3%にとどまっている。今後、阿倍野地区第二種市街地再開発事業が平成24年度完了予定であることから、平成23年度には公園整備を完了させ、再開発事業区域の東側ゾーンに位置する緑の拠点として、住民や就業者等の憩い、交流の場や防災拠点としての事業効果を発現させる。